

2026年度③

商 法

(全 2 ページ)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答用紙・下書き用紙は、この冊子の中に折り込んであります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
4. 解答は指定された範囲に記載すること。「書き終わり」をこえて記載した場合は、採点をしないことがあります。
5. 試験終了後、問題冊子・下書き用紙は持ち帰りなさい。

商 法③

次の問題Ⅰ・Ⅱにつき、それぞれ解答しなさい。その際、単に結論を出すだけでなく、結論を裏付ける理由についても簡潔に示しなさい。(計100点)

Ⅰ 甲株式会社(以下「甲社」という。)は、和装用品の販売等を業とする株式会社である。甲社は取締役会設置会社であるが、大会社ではなく、種類株式発行会社でもない。甲社の取締役会は、代表取締役社長A、専務取締役B、常務取締役Cの3名によって構成されている。BはAの長男であり、Cは長年にわたり甲社の従業員を務めた後、取締役に就任した者である。2024年末、Aが甲社の経営から引退し、代表取締役および取締役に辞任する意向を示したため、甲社は、臨時株主総会を開催し、D(Aの次男)を取締役に選任し、その後開催した取締役会において、Bを代表取締役に選定した。

2025年になっても、Aは、毎日甲社に出勤し、従前と変わらず、取締役や従業員に業務上の指示を出したり、自ら買付けを行ったりしていた。そして、Bら取締役、従業員、古くからの取引先関係者は、以前と同じくAを「社長」と呼んでいた。

2025年11月、Aは、乙株式会社(以下「乙社」という。)との間で、高級反物等を含む和装用品1000万円分を購入する契約(以下「本件売買契約」という。)を締結した。Aは、これまでどおりBには事後報告すればいいと思い、本件売買契約の契約書に「甲社社長 A」と署名した。乙社は、甲社とは3年前に一度だけ取引したことがあり、しばらくは関係がなかったが、Aが、現在の自己の身分について説明しなかったため、Aが今も甲社の代表取締役の地位にあることを信じて本件売買契約を締結し、甲社に商品を売り渡した。同年12月、Aは体調を崩して入院したため、甲社の業務はBら取締役に任されることとなった。2026年1月、乙社は甲社に対して本件売買契約にかかる代金の請求を行ったが、Bは、覚えのない契約に関するものとして、その請求を拒んだ。

上記の事実関係を踏まえ、次の問いに答えなさい。

(1) 乙社はいかなる理由を挙げて甲社に本件売買契約の代金支払義務があると主張すると考えられるか。また、その請求は認められるか。

(2) (1)とは別の事案として、次の事実が存在した場合、乙社はどのような主張を行うべきか。また、その請求は認められるか。

本件売買契約の締結時点において、甲社の登記簿上の代表取締役はAとなっていた。地元財界の名士であるAの名前を残した方が甲社にとって有益であるという理由であり、AもBも承知していた。乙社の担当者は、本件契約に先立って登記簿を閲覧し、Aが甲社の代表取締役であることを確認した上で契約を締結している。(50点)

II 建設資材の製造および販売を業とするX株式会社（以下「X社」という。）は、会社法上の公開・大会社であり、監査役会設置会社であるが、種類株式発行会社ではない。X社は、その発行する株式を東京証券取引所のスタンダード市場に上場している。X社は他社にない技術によって業界内では小規模ながら有力企業として評価されてきた。近時、X社の技術力に目を付けた同業のY株式会社（以下「Y社」という。）が、X社に対し、業務提携を呼びかけてきた。X社より大規模なY社は、その資本力を背景にX社を子会社化する案を示してきたため、X社はその申し出を断った。そこで、Y社は、市場においてX社の株式を買い進め、その割合は、X社の発行済株式の10%に至っている。

X社は、Y社からの敵対的買収を危惧し、かねてより友好的な関係にあった電子部品製造業のZ株式会社（以下「Z社」という。）との提携を強化することを目的として、Z社に対し、募集株式の発行（以下「本件新株発行」という。）を行うことで、Z社と合意した。本件新株発行により、X社の発行済株式中、Z社の持株割合は30%になる一方、Y社の持株比率は10%から6%に下落する。X社の取締役会は、本件新株発行による株式の発行価額を、X社の株価の直近6ヶ月平均の95%の水準（＝直近株価の90%の水準）に設定した。なお、X社の定款上の授権株式数には十分な余裕がある。

X社とZ社の提携を阻止しようとするY社は、本件新株発行の差止めを請求することとした。(1) Y社はいかなる事由を主張すべきか、(2) Y社の請求は認容されるかどうか、の2点について、論じなさい。(50点)

以上